

令和2年度
公益社団法人遠野市シルバー人材センター
安全大会

紙面

発行 令和2年8月15日

公益社団法人遠野市シルバー人材センター
安全衛生管理委員会

安全は「全てに優先」する！

理事長 佐々木 明 敏

毎年、定時総会の日程に合わせて開催されてきた当センターの安全大会は、新型コロナウイルス感染症対策として、役員以外の出席ができませんでした。これにより、会員の皆様と共に安全大会をどのように実施するか検討を重ねてまいりました。

令和二年六月十二日開催の安全衛生管理委員会において、会報ひこばえの発行に合わせ、初めての取り組みとなる紙面による安全大会の開催といたしました。

会員の皆様方と一堂に会し、声高らかに安全就業宣言を唱和したいところでしたが、これが叶えられない今となつては、会員の皆様個々に朗唱頂き、日々の安全就業に生かして頂きたいと思えます。

さて、昨年度岩手県内の傷害事故及び賠償責任事故の発生状況をみますと、県内三十二センター中、十五センターで三十五件の発生となりました。

幸い重篤事故の発生はありませんでしたが、当センターは、傷害事故発生件数で県内ワースト（悪い順）の二位でありました。

また、賠償責任事故では、県内三十二センター中、八センター賠償責任事故発生件数でもワースト（悪い順）で二位でありました。

いまだかつてない不名誉な結果となりました。勿論、事故に遭われた方、事故を起こした方には、気の毒に思つておりますが、ご自身が事故に遭つた或いは起こしてしまつたことの反省をひとり一人が真摯に向き合わないことには、事故の撲滅には繋がりません。合わせて他人が遭つてしまつた或いは起こしてしまつた事故を他人事としないで向き合つて頂かないと、私たちのセンターの目標である「事故ゼロ」に近づくことはできません。

どうか今一度振り返り、今年こそは事故ゼロとなりますよう、ご配慮くださいますよう、宜しくお願い申し上げます。

ワースト二位の「汚名返上」を誓う

安全衛生管理委員長 藤 田 優 一

会員の皆様には、コロナウイルス感染症の脅威と闘いながら日々を過ごされていることと拝察いたします。

昨年度当センターにおける傷害事故発生は実に五件、そのうち「ハチ刺され」が四件で、「転倒打撲」が一件でした。

賠償責任事故発生は三件で、全て機械草刈作業中における事故で「飛び石によるガラス破損」が二件、「石油配管切断」が一件でした。

今年度は、最重要課題として、「ハチ刺され事故の撲滅」及び「機械草刈における事故の撲滅」を掲げてまいりたいと思ひます。

安全大会を会員の皆様と共に開催できかねましたので、当初予定していた事務局長の発表が紙面によるものとなつてしまいました。全会員が必ずお読みになられ、参考にして頂きますようお願い申し上げます。

事故ゼロを目指し、ひとり一人が安全第一、安全は全てに優先することを心に刻み、

『汚名返上
じゃ！！』



見積時と就業前に時間をかけて

事務局長 菊地和弘

若手のリーダーが育ちつつあり、安全に対する認識も少しずつではあります。変わってきているように感じられます。

このような状況にありながら、昨年当センターで発生した傷害事故は五件、うち「ハチ刺され」が四件とかつてないほどの記録的な値を示しました。

ハチ刺されは、アナフィラキシーショックを引き起こし、人によつては、「死に直結する」と言われております。

アナフィラキシーショックとは、何かしらのアレルゲンなどに対して全身性のアレルギー反応を引き起こされてしまい、血圧の低下や意識状態の悪化が出現した状態を指します。

アナフィラキシーショックが生じた際には、迅速な治療が必要です。また、一度アナフィラキシーショックを起こしたことがある方は、再度同じ原因物質に暴露されることで同じように非常に重い症状を起こすことがあります。

この場合は、当然ハチがこのショックを引き起こす原因となる訳です。「前にも刺されたことがあるけど、何ともねがった」という方もいらっしゃると思いますが、繰り返し原因物質で暴露、つまりショック症状を引き起こすこととなります。簡単に考えることはできません。

地域班内会議の後半でお話しさせて頂いた班もあります。私の家の太陽光発電パネルのメンテナンスに来た若い業者の方の話をさせて頂きます。

「たまたま家にいた私にきちんと挨拶をしたあと、「それでは早速見させて頂きます」と言うものの、私の家の前に立ち、動こうとせずにぼんやりと周囲を観察し始めました。当初私は何をしているのか分からずにいましたが、何をしているのか聞いたところ、周囲を飛んでいるハチの動きを説明し始めました。

「お隣のブドウの木に四方向からハチが来ていますね。スズメバ

チはもう一軒奥の家にきつと巣がありますね。このアシナガバチは東の方から来ています。大体四方向から集まっていますね。」などと話して、いよいよ我が家の屋根に上がる準備を始めました。

二連梯子をかけるのにも時間をかけてじっくりと、そして本当にゆっくりと一段一段まるでナマケモノのようにそちらこちら見回しにもじっくりと時間をかけて確認しておりました。

梯子を下りて私に古いアシナガバチの巣を見せながら、「古い巣がこれだけありました」と見せてくれました。

私は、自分の家の周りをしょっちゅう見て、ハチの巣があれば、逐次長竿を持ち出し取るのが日常でしたので、私的には、気付かなかったことにショックを受けました。

しかしながら、若いのにこれだけ慎重に対応することに感銘を受けたことで、「これは、会社の方針なのか」と尋ねると、「そういうわけではありませんが、結果として会社に迷惑をかけることにもなりますし、自分自身が痛い思いをしたくありませんから」という回答でした。

私は、「御社と契約して良かったと思う」というと、その若い業者の方は、「なかなかそこまで言ってくださるお客さんはいません。お褒め頂きありがとうございます」と言ってくれました。

つまり普通は、さつさとやれとか、何をぼーっとしているんだとか、仕事をしないうちに日が暮れるといった言葉を発する方がまだ多い中で、時代は確実に変わっていると感じたところでは。

安全衛生管理委員会の中で、今年の「安全巡回点検表」を見直し、「作業前に打ち合わせをし、段取りの確認を行ったか」と「作業前に蜂の気配がないか確認を行ったか」の二項目が加わりました。

これらにも時間をかけて、ハチ刺され防止に努めて頂きたいと思えます。そして事務局では、各就業現場に向き、安全衛生管理委員会が行うイエローカード方式巡回指導の際にもこのチェック様式をお示ししてまいりますので、就業グループ内或いは地域班内会議においても話題として頂き、誰一人として『ハチ刺され』とならないようにして頂きたいと思えます。

まさか植え込みにスズメバチの巣があるとは思わなかったとか、まさか電信柱の穴にスズメバチが巣くっているとはおもわなかったとか、剪定屑や草積み場に巣があるとは思わなかった。土手の傾斜

地の土の中にスズメバチの巣があると考えるなかった。などとお聞きしましたが、残念ながら全てハチが巣を作る環境であるということとを再認識して頂きたいと思えます。



次に賠償責任事故の全三件は、機械草刈時に「チップソー」を使用しての飛び石によるガラス破損が二件、石油パイプラインの切断が一件です。

前述の「まさかハチの巣が」と同じで、草を刈る場合も石があることも石が飛ぶ可能性もあることも何かを間違つて切つてしまうことも承知の上での就業となりますので、いつも安全衛生管理委員会や事務局で話しているとおり、「危険個所の確認をしながら、手鎌で刈つて、草刈機械が間違つて危険物と接触しない段取り」を徹底して頂きたいものです。

機械草刈をされる皆さんは、いわゆる凶器と化する機械を使うわけですから、十分に気を付けて頂きたいと思えます。

賠償責任事故に伴う免責額は、事故一件につき一万円となっております。昨年の免責額の支払いは、会員さんグループ皆でほぼ均等割とされており、配分金や材料費を差し引くと大きな痛みとなるはずで

す。昨年の賠償責任事故一件を検証した中で、実際にパイプラインを切断したと思われる会員の特定がされなかったことは、誠に残念であります。何故なら、切つてしまった会員が気付かないでいるかも知れないからであります。つまり、会員自らの反省の機会を奪つてしまつてはまいいかと思うからであります。

リーダーさんは、誰がやつてしまつたかはおおよそ分かるが、犯人探しはしないという考えだったので、尊重してしまつた形であり

ます。若くても、年を重ねてもシルバー人材センターで働き、お金を頂く以上はプロフェッショナルであります。

講習会開催日程も事務局に掲示してありますので、受講料負担は生じますが、今一度ご確認のうえ、受講された後に就業されますようお願い申し上げます。紙面安全大会の提示とさせて頂きます。

安全就業宣言

私たち遠野市シルバー人材センターの会員は、「自主・自立、共働・共助」の理念のもと、シルバー人材センター機能を発揮するため、就業活動に積極的に参加するとともに、就業にあたっては会員ひとり一人が「自らの安全は全てに優先する」を念頭に置き、就業事故ゼロを目指し、会員のすべてが安全就業に全力を尽くすことをここに誓います。

令和2年8月15日

公益社団法人遠野市シルバー人材センター 安全就業推進大会

イエローカード巡回方式 安全パトロールについて

当センターでは、イエローカード巡回方式ということで、安全衛生管理委員が中心となり、安全パトロールの実施を行っております。安全衛生管理委員会が抜き打ちで就業先へ訪問しチェックシートに沿って、服装・装備・器具の点検をしっかりと行っているか、身の回りに危険がないか、無理な姿勢での作業をしていないかなどの確認を行っております。会員の皆さんが安全に就業できるように、パトロールを行ってまいりますので、ご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。



安全・適正就業強化月間

国が実施する「全国安全週間」に合わせ、7月は「安全・適正就業強化月間」の月となっております。当センターの玄関には、安全就業スローガンを掲示しております。会員の皆さんの安全就業の意識を高め、今年度こそは、悲願の事故件数「0」を達成できるように、安全な就業に努めていただきたいです。



公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会 安全就業スローガン

**「去年より落ちる体力 増す危険
慣れた仕事も 慎重に！」**

公益社団法人遠野市シルバー人材センター安全衛生管理委員会